

令和7年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立萩中小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・協働的な活動やレベルアップ型活動を取り入れることで、楽しみながら知識・技能を高めることにつながった。
- ・一人一台端末を効果的に活用することで、思考力の向上とともに、技能の差に関わることなく、興味・関心をもって取り組める児童が増えた。

(2) 課題

- ・器楽の技能の個人差が依然として大きい。
- ・よりよい表現についての思いや意図をもつことができて、それを表現に結び付けたり工夫したりしていくことに課題がある。
- ・友達と関わり合いながら活動する場面で、一度協力して活動ができないと、そのまま主体性が下がってしまうこともあった。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○体の動きを伴った活動や様々なバリエーションで表現活動を行うことで、楽しみながら技能の向上を図る。	○特に音楽づくりにおいて、一人一台端末を積極的に活用し、個々の技能の差に関わらず、思いや意図を表現できる機会を増やす。	○できるだけ多くの友達とペア活動ができるよう活動形態を工夫し、友達と関わり合いながら活動する楽しさを実感させる。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○デジタル教科書の効果的な利用とともに、必要に応じて、教科書音源に頼らないことで身に付く技能との使い分けを行う。	○技能中心のレベルアップ型器楽演奏の活動の中でも、思考・判断・表現の力を高めるミッションを意図的に組み込む。	○ペアやグループ活動を行った後の振り返りの充実を図り、具体的によかった点を自覚することで、次の活動の意欲へとつなげる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○一人一台端末での録音機能等を利用して、自分の演奏を振り返る機会をもったり、教師が一人一人の演奏を細かく聴取したりすることで技能の向上を図る。	○教科書の「見つける」「考える」「演奏する」の言葉を大切に、特に「考える」の場面では一人一台端末を用いて、十分に思考力を働かせる活動ができるようにする。	○全体、グループ、ペア学習のそれぞれのよさを生かし、児童主体で表現活動を行う楽しさを味わえるようにする。